



インドア・グリーンの魅力

インドア・グリーン

環境を守る緑の力

インドア・グリーンサービスとは

NIGAのご案内

全国会員データベース

関連書籍紹介

リンク集

お問い合わせ

会員ページ

もっと知りたい

観葉植物を育てよう

植生誌

グリーンマスター

グリーンマスターのご案内

マスコットキャラクター紹介

グリーンニュース・シリーズ

Improve Your Triple
Bottom Line

緑の職場と環境、
健康の向上

緑の職場と環境、
健康の向上 - シリーズ2

緑の職場と環境、
健康の向上 - シリーズ3

植物がエアコンに取って
代わるとき - シリーズ4

サイトマップ

トップページ NIGAのご案内



NIGAのご案内

特例民法法人への該当性について(公表)

一般社団法人 日本インドア・グリーン協会 概要

1. 設立の趣旨

観賞用植物による室内及び室外の装飾(以下「屋内緑化装飾」という。)についての技術の向上、屋内緑化装飾業の近代化、合理化を図り、もって都市の生活環境に憩いと潤いを与え、屋内緑化装飾業の健全な発展に寄与することを目的とする。

2. 運営

(一社)日本インドア・グリーン協会は、園芸装飾、貸植木等の屋内緑化装飾業を主として営む者を会員として構成されています。
この他、協会の目的に賛同するものは賛助会員になることができます。

3. 活動

- 技術の研究及び指導普及
- 研究会及び講習会の開催の案内
- 雑誌、書籍の発行
- 緑化装飾の近代化、合理化
- 情報、資料の収集・交換
- 国際交流の促進

4. 設立日

昭和48年8月8日

5. 所在地

〒141-0031
東京都品川区西五反田七丁目1番5号安藤ビル2階
TEL: 03-6303-9395
FAX: 03-6303-9397
E-MAIL: info@niga.or.jp

6. 会員数

正会員 278社 賛助会員 12社 計 290社
(令和2年6月1日現在)

7. 役員

職名	勤務	ブロック名	支部名	氏名	園社名
理事長	非常勤	関東	東京	大林 修一	(株)プラネット
副理事長	非常勤	関東	東京	下田 博子	(株)喜芳園





インドア・グリーンの魅力

インドア・グリーン

環境を守る緑の力

インドア・グリーンサービスとは

NIGAのご案内

全国会員データベース

関連書籍紹介

リンク集

お問い合わせ

会員ページ

もっと知りたい

観葉植物を育てよう

植生誌

グリーンマスター

グリーンマスターのご案内

マスコットキャラクター紹介

グリーン・ニュース・シリーズ

Improve Your Triple
Bottom Line

緑の職場と環境、
健康の向上

緑の職場と環境、
健康の向上 - シリーズ2

緑の職場と環境、
健康の向上 - シリーズ3

植物がエアコンに取って
代わるとき - シリーズ4

サイトマップ

トップページ >>> インドア・グリーンサービスとは



インドア・グリーンサービスとは

オフィスやリビングにお気に入りのグリーンを置いてみませんか？
それだけで室内空間が瑞々しく変化するのは、植物には目にも心にも活力を
もたらず力が備わっているからです。



インドア空間の植物コーディネートをサポートします

グリーンサービス業とは、観葉植物を中心としたグリーンレンタル、各種イベントのグリーン装飾、建物内や建物周辺の植栽施行、メンテナンス、栽培、販売業に至るまで多岐に渡ります。

皆さんにお馴染みなのは、レンタルグリーンを初めとした、インドア空間へグリーン装飾を行う仕事でしょうか。

人には居心地の良いオフィス、ホテル、デパートなどのインドア空間も、植物にしてみれば低照度で夜露や風も無く、必ずしも快適な環境ではありません。

そのため、専門の知識と経験を持った技術者「園芸装飾技能士」が、屋内に適した種類の植物を選んでコーディネートし、適切な手入れでグリーンを美しく保ちます。

人々に潤いある空間を楽しんで頂けるよう植物を通じて貢献する仕事、それがグリーンサービス業です。

また、あまり知られてはいませんが、植物の専門知識を活用して新しい観葉植物を日本に導入するプランツハンターの役割や、より美しい園芸種を開発する仕事もインドアグリーン業の隠れた一面です。



●クリックで拡大します。



インドアグリーンの歴史

現代ではインテリアに欠かせないインドアグリーンですが、始まりは明治時代に遡ります。

それまで「家屋に土は不浄」が日本の文化でした。

しかし西洋化に伴い、洋館へインテリアグリーンとして観葉の鉢物需要が生まれます。

はるばる外国からやってきた観葉植物は貴重で珍しく、温室の数が少なく海外旅行が自由でない時代までは、異国情緒なステイタスの高い植物として扱われていました。

そうした植物の維持管理と栽培が現在のグリーンサービス業の始まりと言えます。